

東つよしの 奔西走

戦後 70年 平和の声を岡山で

東つよし市議は、東京から広島へ核兵器廃絶を求めて歩く国民平和大行進の指揮者として7月20日



に南区を歩きました。(上写真左端、右写真右端) 暑い日でしたが、行進団にカンパを下さる方など、応援をいただきました。

最悪を想定した防災を

東市議が委員をつとめる防災対応力調査特別委員会が7月31日に開かれました。危機管理室から防

災計画について説明を受けました。地震津波についての潮位の設定は、以前は大潮だったの



に、今は平均の満潮位です。これでは地震後の浸水や津波の想定が小さくなりかねません。東市議は最悪を想定し備えるべきでないかと議論しました。避難所は、必要量を想定し確保することを求めました。7月は台風11号で全国的に被害が出ました。災害に強いまちづくりを引き続き力をつくします。

7月25日に岡山弁護士会主催の戦争法案に反対する集会(上写真)とパレードに一五〇〇人が集まりました。共産、民主、維新の国会議員があいさつ、東市議も参加しました。7月6日の市議会閉会日には戦争法案廃案を求める陳情が不採択にされ、自民党・無所属の会と公明党の議員が陳情に反対する討論をしました。海外で戦争する国づくりを許さない声を岡山から広げることが大事です。

ひとこと

蔭涼寺で開かれた宗教者の方々の脱原発の集いに行き、原発事故後、原発ゼロを提言した城南信用金庫相談役の吉原毅さんの話を聞きました。お金は人の心を狂わせる、信用金庫はお金優先社会に抗してできた、原発は金で心を狂わせられた産物等々：勉強になりました。(東つよし)